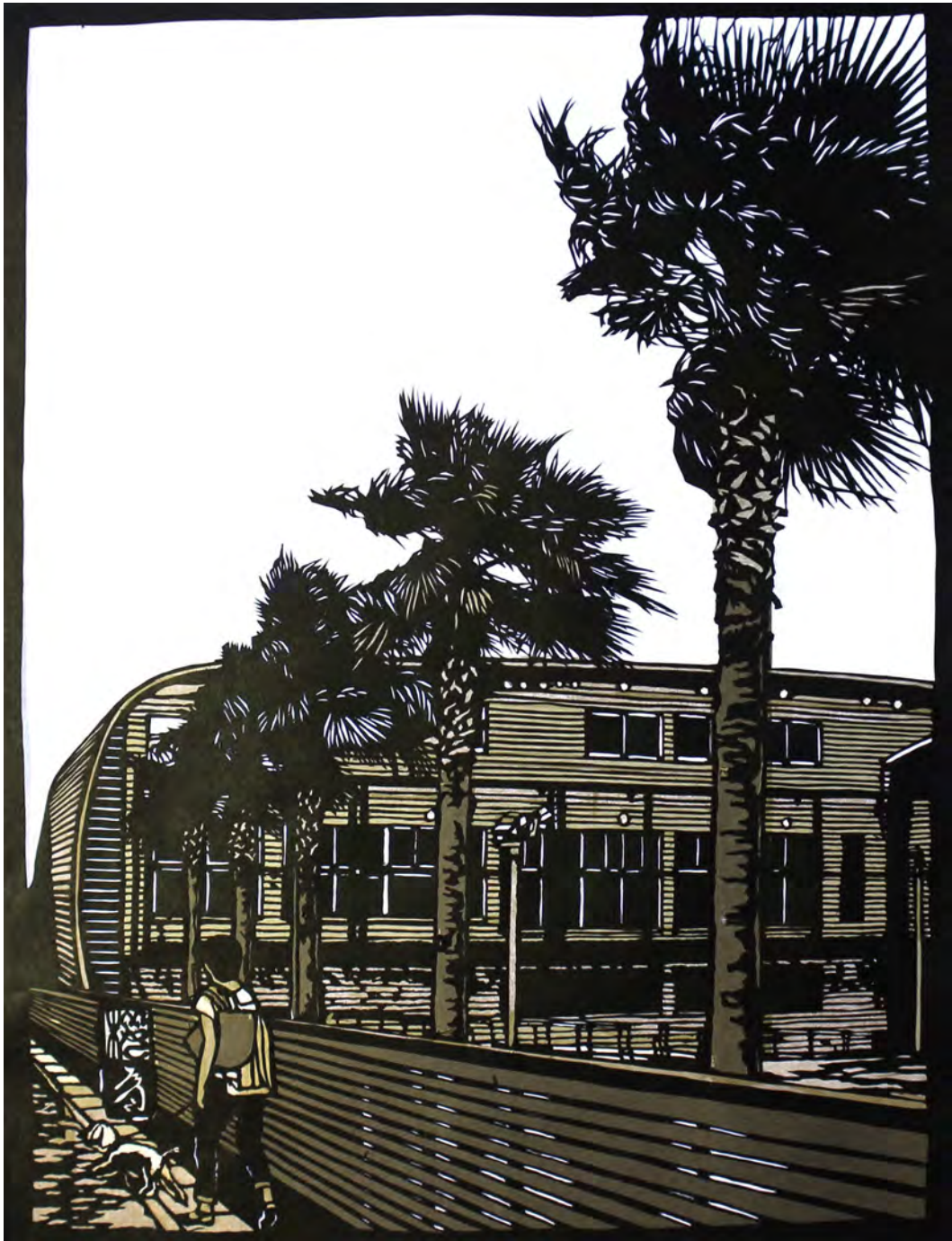


# はーと & はーと

東海市国際交流協会会報 (No. 168)



(パームヤシのある風景)

# 地球の仲間たち

## カブトムシの国際交流

副会長 桜井 敏彦

7月のある日、いつものように加木屋緑地公園のクロスカントリーコースを散歩していると、少し先に虫取り網を持った子供連れの家族がワイワイと大きな声で話しています。たぶん2家族ほどで大人が4~5人、子どもが4~5人いるようです。

昆虫好きな私は2日に1回ほどこのコースを歩いて色々な虫を見て回ります。ですから、どこの、どの木に、どんな虫が集まるのかが大体頭に入っていて、虫取りの子供たちを見るとすぐに探す虫があります。それは男の子が大好きなクワガタムシで、特にこのコースにはノコギリクワガタが多く、樹液を出している木を2~3本探せば確実に見つけられます。

この時、私が見た木にはこの夏初めて出会った大きな雄のカブトムシがいました。捕まえて家族の方に歩いて行くと、彼らの会話は日本語ではありません。中国語でもないし、ベトナム語にしては何か響きが違う、どこの人たちだろう。差し出したカブトムシを見て「わっ、ヘラクレスだ。いいの？ありがとうございます」と男の子が目を輝かせました。「ありがとうございます

ます」とややなまりのある祖父母らしい人たちからお礼を言われました。

少し離れた場所で虫取りをしていた若い夫婦と子供たちも走ってきてカブトムシに興奮しています。

「こんなのがいるんですね」と若い父親らしい男性が言うので、「クワガタムシもいるよ」と近くの木を探すと、高さ3メートルほどの枝にいました。子供の網では届かないので、父親が「木に登って採る」と木に足をかけると、別の枝にいたらしい大きなノコギリクワガタが落ちてきて頭に当たったようです。落ち葉に逃げ込もうとするクワガタムシを子供達は逃しません。別のクワガタムシも落下してきました。私は木の種類と探し方を教えてあげました。

しばらく一緒に探したあと、「ありがとうございます」と何度もお礼をいう家族に、「どちらから来たのですか？」と聞くと「名古屋からです。私達は韓国人です」との答えでした。「今日初めてここに来ましたが、来てよかったです」ととても喜んでくれました。

短い時間でしたが、久しぶりに地球の仲間たちに出会った気分でした。



“Give me a definite answer.”

「はっきりした返事をちょうだい」

何かとあいまいな返事をしがちな日本人、Yes or Noを明確に答えるようにしたいものです。

協会活動あれこれ I

国際理解講座「ウクライナ紹介と避難民家族との交流」開催

令和4年6月26日に国際理解講座を商工センター大会議室にて無事開催することができました。平和の祭典である冬季オリンピック・パラリンピック開催期間中の2月24日、突然ロシアによるウクライナ侵攻が始まり、20世紀前半のような武力攻撃が再現され世界中が驚きました。

このような中、平和な日常生活を破壊され、ジトーミルの家族と別れて東海市在住の川口リュドミラさんを頼って来日した妹さんと幼い双子の家族、サマダ・ラダさんを頼ってザポリージャより母親と妹さんの家族と友人1名が市内に避難されています。ウクライナについてより詳しく知りたいとか、避難民の方々に少しでも助けになる事をしたいとの声を受け、企画を進めてきました。避難民の方の生活安定化に尽力されている市役所担当者や親交の深い方々ほか、ご本人たちのご協力で開催することができました。

理解講座は2部構成で行い、前半はNPO法人日本ウクライナ文化協会理事長のリュドミラさんにより、映像を交えてのウクライナの歴史や伝統文化、食文化ほか旧ソ連邦時代の飢饉などについて説明をしていただきました。

リュドミラさんの妹家族は当初参加予定で計画していましたが、夫の戦線派遣のため急きょ帰国したものの、途中足止めもあって心配しましたが無事到着し、その時の写真や現地の映像が紹介されると会場の皆さんも安心し心温まりました。

後半は「避難民家族との交流」をテーマに、ザポリージャから非難されているサマラさん親子と友人3名から次のようなお話を聞くことができました。

- ①非難開始時前後の現地状況
- ②他国への一時非難状況
- ③日本到着時の印象
- ④東海市での避難生活
- ⑤日本語とウクライナ語、学校生活
- ⑥現在困っていること

現在の安定した生活状況を確保していただき感謝されていました。その後、会場の方々から質問にも答えていただきました。短時間ではありましたが、当事者の皆さんから直接声を聴き、ウクライナがより身近に感じました。今後も可能な範囲で支援を継続し、侵略が一日でも早く終結して帰国できることと安定的平和が訪れることを願っています。

本講座終了後、入り口にてウクライナの支援国ポーランドのお菓子（チョコレート、キャンディ）を配布し、多くの方から「避難民の方の支援」「ウクライナ文化協会」「日本赤十字社」の各募金箱への支援をいただきました。

最後に今回の開催にあたりご協力をいただいた関係者の皆さんにお礼申し上げます。

国際理解講座運営委員長 河村 章司

※国際理解講座報告書から要約して編集させていただいています。

## 世界のお菓子 サバラン



サバランはフランスから広まったお菓子です。

ガラスケースに並んでいても、中心に丸い山があるだけの見た目が地味な茶色のケーキはあまりおいしそうには見えませんでした。しかし、今は控えめなアレンジがされているようです。私はいつもたっぷりのクリームや、フルーツに魅かれて選んでしまい、サバランはたまに買う特別なケーキです。

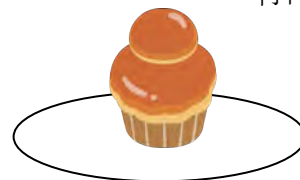
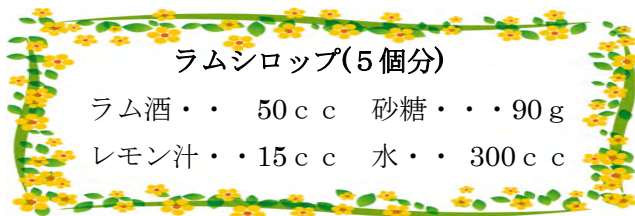
初めて食べたのは、遠い昔、まだ若かったころですが、すごい量のお酒に浸っていて、厚手のアルミカップの中には染み出たお酒がたっぷり、この驚いた経験から、変わった名前とともに、忘れられないケーキになりました。

このケーキは美食家で有名だったサバランというフランス人男性の名前が付けられているとのこと。だから華やかなデコレーションは無かったのかも。独特な形は、ブリオッシュ生地（パン生地）で作られていて、元々は円柱形をしたババと、リング型をしたサバランがあったようですが、現在はサバランという名前になっているそうです。私の記憶に残る、飾りがなく円柱形をしたものは、本当はサバランのルーツのババだったようです。

外国語と日本語、反対の意味だったり、日本語ではイメージが良くなかったりすることもあり、商品の命名は難しいですね。

夏空の下、冷たいラム酒に浸る大人のケーキ、サバランはいかがですか！

竹内かず子



### 協会活動あれこれ II

#### ウクライナの女性、着物の着付けを体験

協会ではウクライナから避難してきた人を対象に今年度から、日本語教室の中に、ウクライナ特別支援クラスを設け、日本語を教えています。

先日、6月28日、スタッフが、気晴らしにならないかとの思いで、協会が所持している振袖、内掛けの着付け体験を計画しました。彼女たちは着物を着るのは初めてで、素晴らしいと終始笑顔で、とても喜んでいました。会員で着付けを担当したボランティアが、「帯はきつくはないですか？」と聞くと「大丈夫」と、覚えてたの日本語で返してくれました。美しい写真と共に、思い出に残る日本文化の体験になったようです。

会員着付けボランティアより

# 東海市探訪

## かって橋とは？

最近、「かって橋」という言葉を知りました。通常橋を架けるには河川を管理する国や県、市等の許可が必要ですが、その基準はなかなか難しいと聞いたことがあります。

そこで農業用水路などに個人や地域で、かってに橋を架けていることがあります。板や丸木、鉄板などを渡した簡易なものばかりではなく、業者によって本格的に架けられたものもあるようですが、維持管理や橋が原因の事故などで問題となることがあります。市内にもこのような橋があるのか、土木課の方に向かってみたところ、現在市が把握しているものはないとのことでした。しかし、実際には農業用水路越しの駐車場や池に注ぐ溝などに個人的（家族又は会社用として）に架けられているものはいくつかありますので、もし渡る必要のある方は十分にご注意を!!

(会報委員)



## = INFORMATION-1 =

### 「ウクライナの文化を楽しもう」

日 時：令和4年9月4日（日）

午前の部 10:30~12:00 午後の部 15:00~16:30

(12:30~15:00 はウクライナチャリティコンサート開催のため閉室)

と ころ：東海市立文化センター 第1講義室（2階）

内 容：・ウクライナのお守り人形（モタンカ人形）作り体験

・ウクライナ模様の缶バッジ作り

・ウクライナ模様のハンコでエコバック作り

・その他・・・ 絵本、雑貨、展示など

参 加 料： 無料

申し込み：モタンカ人形作りに限り 各時間帯 15人（先着順）

午前 ①10:30~ ②11:15~ 午後 ③15:00~ ④15:45~

★ お申込みの際は、上記希望時間と氏名、連絡先をお知らせ下さい。

申し込み・お問い合わせ：協会事務室へ

会員のつどい運営委員長 堀 ゆき子





## ＝ I N F O R M A T I O N - 2 ＝

### インターナショナルデー運営委員募集

3年ぶりに11月5日、6日の「東海秋まつり」で協会恒例のインターナショナルデーを開催することになり、運営委員会を開催します。ご協力いただける方は是非ご参加をお願いいたします。

ご参加いただける方は、事務室までお知らせください。

日 時：令和4年8月3日（水）午後1時30分～

場 所：東海市立商工センター3階中会議室

インターナショナルデー運営委員長 吉松 くに子



### 日本語教室

日 時：第1・第3日曜日 14:00～16:00（緊急事態宣言発令中はオンラインで）

第2・第4月曜日 19:00～20:30（オンライン授業）

場 所：東海市立商工センター3階中会議室他

### 子どもといっしょに日本語教室

日 時：第1・3木曜日 10:00～12:00

場 所：しあわせ村研修室他

（託児を希望される方は事前にご連絡ください） **フェイスブックQRコード**



### 外国につながる子どもの学習支援教室

事前に事務室へお問い合わせください。

日時：毎週金曜日 18:30～20:30 / 場所：東海市立商工センター3階中会議室他

外国から来た子どもに宿題や勉強を教えるボランティアを募集しています。

興味のある方は事務室にご連絡ください。

### 在住外国人生活相談

英語、中国語またはタガログ語による生活一般相談

随時電話にて受け付けます。（予約制）ご希望の方は事前にご連絡ください。

※上記事業の詳細は事務室またはホームページ、フェイスブックでご確認下さい。

お問い合わせ等は協会事務室まで

open 月～金曜日 9:00～16:00（祝日はお休み）

協会事務室が留守の場合は市役所秘書課

TEL052-603-2211、0562-33-1111

ホームページ <http://www.medias.ne.jp/~tia/>

E-mail [tia@ma.medias.ne.jp](mailto:tia@ma.medias.ne.jp)

発行日 令和4年8月1日

編 集 東海市国際交流協会会報運営委員会

発行者 東海市国際交流協会

〒 476-0013 東海市中心中央町四丁目2番地

TEL 0562-32-5339

FAX 0562-33-9029